

FACIAL TREATMENT ROLLER

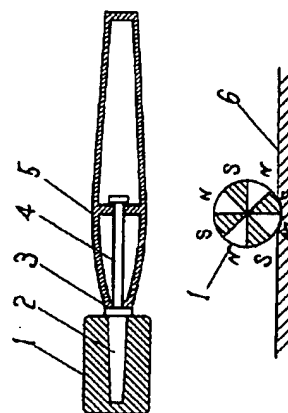
[71] Applicant: SUGA TOSHIHISA

[72] Inventors: SUGA TOSHIHISA

[21] Application No.: JP02163234

[22] Filed: 19900621

[43] Published: 19920221



Retrieve text/document

[57] Abstract:

PURPOSE: To promote the metabolism of the skin by the effect of magnetic force line and hold the tension of the skin by rotatably mounting a roller made of permanent magnet on the top of a grip, and rubbing the skin with the roller.

CONSTITUTION: A rotating shaft 4 is rotatably mounted in a grip 5, one end of the rotating shaft 4 is protruded out from the top 3 of the grip 5, and a roller 1 made of permanent magnet consisting of magnetic material such as ferrite or alnico is fixed thereto. When the magnetic poles of the roller 1 are radially disposed, the direction of magnetic force line is alternately changed when the roller 1 is rotated on a skin 6, and the more effect of magnetic force line can be obtained. In the using method, the rolled 1 may simply be rolled on the skin with holding the grip 5 and can very easily be used, and the massage effect by the roller 1 together with the effect of magnetic force line can be expected.

COPYRIGHT: (C)1992, JPO&Japio

[51] Int'l Class: A61N00208

⑫ 公開特許公報(A) 平4-53567

⑤ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)2月21日

A 61 N 2/08

6404-4C A 61 N 1/42

C

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 美顔用ローラー

⑯ 特 願 平2-163234

⑰ 出 願 平2(1990)6月21日

⑱ 発 明 者 須 賀 壽 久 埼玉県浦和市仲町2丁目23番18号

⑲ 出 願 人 須 賀 壽 久 埼玉県浦和市仲町2丁目23番18号

明 細 書

1. 発明の名称 美顔用ローラー。

2. 特許請求の範囲

グリップの先端に永久磁石製のローラーを回転自在に取り付けたことを特徴とする美顔用ローラー。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、永久磁石製のローラーによって皮膚をこすり、磁力線の効果によって皮膚の新陳代謝を促し、皮膚の強りを保つ美顔用ローラーに関する。

従来、ローラーで皮膚をこする美顔用ローラーとして、アルミニウムローラーや金属製のローラーがあったが、その効果は、単にローラーによるマッサージ効果が主であり、アルミニウムや金による美顔効果については学術的に実証されているとは言えなかった。

この発明は、米国のオットー・ウエバー博士の実験からも明らかにされた、磁力線が皮膚を通ると、組織細胞に十分に酸素を供給し血管に

付着したコレステロール等の老廃物を燃焼して血液の循環を良くし細胞にイオン電荷を与え、細胞膜の動作も活発となり、細胞の新陳代謝作用が旺盛になるという効果を利用し、従来のローラーによるマッサージ効果を主体としたものとは根本的に異なるものである。

この発明の実施例に付き、図面と共に説明すると次の通りである。

グリップ5の中に回転軸4を回転自在に取り付け、該回転軸4の一端2をグリップ5の先端3から外に出し、そこにフェライトやアルニコ等の磁性体材料からなる永久磁石製のローラー1を固着したものである。

また、ローラー1の磁極については、第2図のごとく放射状に付けると、ローラー1を皮膚6上で回転させた場合、磁力線の向きが交互に交互に一層磁力線の効果が得られる。

この発明の使用方法は、グリップ5を持ってローラー1を皮膚上で単に転がすだけであり、極めて簡単に使用でき、磁力線の効果と共にローラー

1 によるマッサージ効果も期待出来る。

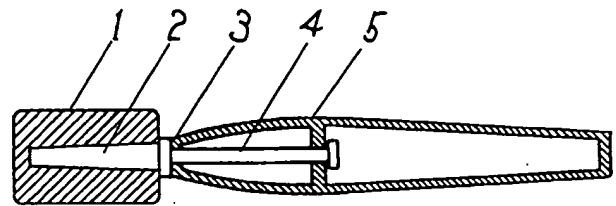
以上のようにこの発明は、従来になく優れた作用効果を奏したものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は側断面図、第2図は正面図。

1、ローラー、2、一端、3、先端、4、回転軸、5、グリップ、6、皮膚。

第1図



第2図

